

# 農業委員会だより

発行/四街道市農業委員会 ☎/421-6155  
編集/農業委員会だより編集委員会



農業者等と農業委員会との意見交換会(令和2年1月15日開催)



## おめでとうございます

令和元年11月3日に「四街道市表彰式」が行われ、農政部門にて功労表彰されました。おめでとうございます。

農業委員会会長 江原 清

農家数	481	内販売農家数	276	専業	第1種兼業	第2種兼業
		内自給的農家	205	77	31	168

平成27(2015)年農林業センサス(単位:戸)

令和元年7月17日、先進農業を支える源泉技術を視察するため、千葉県農林総合研究センターを訪問しました。

午前は、千葉市緑区にある本場を視察しました。野菜研究室の圃場には、施設野菜用のハウスが52棟あり、主にトマト・キュウリ・イチゴ等の果菜類の試験研究と調査、更にイチゴの新品種の育成を行っていました。

研究室では、県内で栽培が最も多い施設野菜のトマトを対象に高収量をもたらす革新的な炭酸ガス施用技術の確立に取り組んでいました。また、湿度管理技術では、ハウス内の温度をミストで下げることにより、10a当たり20t収穫するところを35tの収穫が見込まれるとのことでした。

病理昆虫研究室では、高品質安定生産を目指した病害虫管理技術の確立や環境に優しい病害虫防除技術の確立に取り組んでおり、ここ数年間で病害虫診断や相談等、約300件の依頼を受けているそうです。

午後からは、八街市にある落花生研究室を視察しました。本研究室は、全国で唯一の落花生専門の研究室として、落花生の新品種育成を中心に栽培に関する試験・原原種の維持管理・遺伝資源の保存等を行っていました。千葉県では、現在全16品種を育成・普及しており、平成30年から販売されているQナッツは新たな品種として期待されています。

千葉県農林総合研修センターは、17研究室・1育成地・2分室に於いて、高品質・安定生産にむけた技術や生産者・消費者のニーズに合わせた研究等を行っており、千葉県の農業を支える重要な役割を担っていると実感しました。

## 令和2年度標準農作業料金

	作業種目	契約条件	金額(円)
手 作 業	水田作業	1日当り	9,900
	畑作業	1日当り	8,200
機 械 作 業	耕起 (トラクター)	10a当り	6,100
	代かき (トラクター)	10a当り	6,300
	畦ぬり (トラクター)	1m当り	40
	植付(田植機)	10a当り (苗代除く)	7,200
	刈取脱穀 (コンバイン)	10a当り	18,000
	乾燥調整	60kg当り	2,800
	育苗	1箱当り (土・種代 含む)	800
	畑作業 (トラクター)	10a当り	5,500



## 四街道市農地の賃貸借情報について

平成31年1月から令和元年12月までに、本市において締結(公告)された賃貸借における賃借料水準(10aあたり)は、次のとおりとなりましたのでお知らせします。

区分	平均額 (円)	最高額 (円)	最低額 (円)	データ数
田 (水稻)	12,400	14,000	8,400	23件
畑 (普通畑)	8,700	10,100	5,100	11件

※賃借料を物納(米)で設定されている場合は、米60kgあたり14,000円に換算している。

※金額は、算出結果を四捨五入し、100円単位としている。

※平均額は、データ数により加重平均した値である。

※データ数は、集計に用いた締結数である。

## 『これからの農業』



三石 浩 さん

私は、農業に従事してから約20年になります。以前はJAに勤務しておりましたが、近隣の多くの方が農業後継者として頑張っている姿を見て、私も農業にチャレンジしようと決意しました。正直農業で家族を養っていけるのか不安もありましたが、様々な方からのアドバイスを頂き、現在も農業者として頑張っております。

私は、就農前からイチゴの栽培に関心があり、同業者やいちご部会、更に普及センター・市・JAの協力を頂き、栽培方法や技術などを身につけました。

現在のいちご販売は、市場出荷が約7割、近隣スーパー等の直売が3割程度ですが、地産地消の取組みにより、直売を増やすことで売上アップに繋がりたいと考えております。

現在の農業にかかる経費は、私が農業を始めた頃に比べ、約2倍以上となっており、経費を削減することが難しいことから更に品質向上を図ることにより、高値で販売できるように努力していきたいと考えております。

また去年は、未曾有の災害により市内や県内外でも施設の倒壊・農作物の被害が多く発生し、私も被害を受けた一人です。これからは、地球温暖化の影響により災害がいつ発生するかわからないことから、日頃より被害を最小限に抑えられるよう準備をしておく必要があることを、今回の災害で学びました。

私は、去年の4月より農業委員を務めておりますが、今後とも市内の農地や農業を守り、農業振興に努めてまいります。

## 農業者年金に加入しませんか？！

あなたの老後生活への備えは十分ですか？

年金は家族一人ひとりについて準備することが大切です。

老後の備えは国民年金プラス農業者年金が基本です。



① 国民年金の第1号被保険者  
(納付免除者を除く)

☆ ①、②、③の要件を満たせば、どなたでも加入できます。

☆ 積み立てた保険料とその運用益で将来受け取る年金額が決まる「積立方式(確定拠出型)」です。

② 年間60日以上農業に従事

☆ 保険料(2万~6万7千円)を自由に決められます。

③ 20歳以上60歳未満

☆ 支払った保険料は全額社会保険料控除の対象になります。

☆ 将来受け取る年金も、公的年金等控除が適用されます。

農業者年金のお問い合わせは、農業委員会事務局(☎421-6155)

J A千葉みらい四街道支店(☎422-2200) ※お気軽にお電話ください。



## 今後の災害発生時の対応について

令和の初年となった昨年は、千葉県下で9月の台風15号や10月の大雨により甚大な被害に見舞われ、忘れられない年になりました。四街道市では、約2億円の農業被害が発生し農業生産において大打撃を受けました。

近年は強い勢力の台風の上陸が増えており、今後も被害が発生する可能性があります。もし被害を受けたら次の対応をとってください。

1つ目は、被害状況を証明する書類等を必ず記録・保管してください。具体的には日付入りの写真を撮り、一枚撮って終わりではなく、施設の中の様子や、どこが被害を受けたかわかるよう出来るだけ詳細に撮ることを心掛けてください。写真から得られる情報は多く、被害を証明する一番の証拠となります。



2つ目は、農業被害が発生したら被害状況について市（産業振興課）に報告してください。報告してもらうことで、市で把握できない農家にも支援事業の情報をお伝えすることができます。

3つ目は、支援事業の情報が入らず困っている人がいたら、市からの情報などを伝えてください。市では農家組合回覧等を通してできるだけ多くの農家に支援事業の情報が伝わるように努めていますが、農家組合に加入していない農家を把握できないなど、行政だけの力には限界がありますので、皆様のご協力をお願いします。

末筆ながら、現在においても復旧の最中の方もいると存じますが、被災前と同程度以上の農業経営が再開できるよう、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

【お問い合わせ】 産業振興課農政係

TEL 043-421-6133

### 編集後記

1年というのは早いもので、元号が平成から令和に変わって丸1年が過ぎようとしています。昨年を振り返りますと千葉県を襲った台風15号・19号、その後の記録的な大雨となった千葉県豪雨など自然災害のとても多い年ではなかったでしょうか。それに伴い農業被害も甚大となり四街道市も多くの農家の皆様が施設や農作物などに大きな被害を受けました。1日も早い災害からの復旧復興を願わずにはられません。気持ちも新たに令和2年度がスタートし、間もなく風薫る新緑の季節を迎えます。1年で最も生命力に溢れたこの季節の勢いそのままに本年も皆様が太過なく過ごせますよう安全と健康を願いつつ、編集後記とさせていただきます。

（JA千葉みらい 四街道支店長 松吉 賢太郎）

農業と農政の  
情報が満載です!

全国農業  
新聞  
NATIONAL  
AGRICULTURAL  
NEWS

毎週金曜日発行

月額700円（送料・税込）

お申し込みは

農業委員会事務局まで